
「作用機序の異なる2種類のJAK阻害薬における重症成人円形脱毛症の実臨床治療成績の比較検討：有効性・安全性・継続率に着目した後方視的解析」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年5月1日から2024年5月30日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において重症円形脱毛症と診断され、JAK阻害薬（バリシチニブまたはリトレシチニブ）の投与を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

この研究では、当院で治療を受けた重症の円形脱毛症（重い脱毛が6か月以上続いている方）に対して、バリシチニブ（JAK1/2阻害薬）またはリトレシチニブ（JAK3/TEC阻害薬）という内服薬が、どのくらい効果があったか、安全に続けられたかを調べることを目的としています。

具体的には、治療から約9か月（36週）および1年（52週）たった時点での頭髮の再生の程度や眉毛やまつげなどの再生状況、また副作用の有無や薬の継続状況などを、これまでの診療記録を用いて後ろ向きに調査します。

この2つの薬は効き方が少し異なるため、それぞれの効果や副作用の違いを比較することで、今後、患者さん一人ひとりにより合った薬を選ぶ参考になることが期待されています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年10月2日開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることではなく、研究対象者の背景・血液学的検査値・症状および所見などの情報をこれまでの外来診療でのカルテの記載を解析して行う研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究責任者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

円形脱毛症と診断された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 林 理奈（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 福田 知雄（研究分担者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9 時～17 時）

○研究課題名：作用機序の異なる 2 種類の JAK 阻害薬における重症成人円形脱毛症の実臨床治療成績の比較検討：有効性・安全性・継続率に着目した後方視的解析

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり